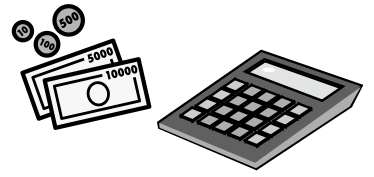


# 平成20年度 財務諸表を公表

財政課財政係 ☎(63)2151

平成20年度決算に基づく市民1人当たりの貸借対照表などの財務諸表を公表します。  
今まで市が公表していた財務諸表は、現金収支に着目したもので、資産・負債やコストの情報が不足していました。そのため、今回から総務省方式に基づき、企業会計的手法を取り入れて公表します。



## 貸借対照表

道路や学校などの建物、預金等の資産が、どのような収入で賄われているかを表示しています。

【市民1人当たり】

資産・財産 174万7千円	将来の負担
道路や土地などの資産 164万5千円	借入金等 40万5千円
現金や預金等 10万2千円	これまでの負担
	国・県からの補助金や市税等 134万2千円

道路などの公共資産に対する将来の負担が、市民1人当たり40万5千円(約2割)残っています。将来の負担軽減のために、借入金の抑制や売却可能な資産の処分などを進めています。

## 行政コスト計算書

社会福祉や教育、ごみ収集などの行政サービスに係った経費と、みなさんが支払った保育料やごみ袋の購入費などを対比して表示しています。

【市民1人当たり】

1年間、教育や社会福祉などの行政サービスにかかった費用 29万9千円	受けたサービスに対して市民が支払った使用料や負担金など 1万9千円  不足する分28万円は・・・ 市税や国・県からの補助金、その他の収入で賄っています。
---------------------------------------	--

不足する分は、市税(市民1人当たり15万円)や地方交付税、各種交付金などの一般財源で賄われます。それでも不足する分は、資産の取崩し等で賄っています。

## 純資産変動計算書

資産形成に要したこれまでの負担分が、1年間でどのように変動したかを表示しています。

【市民1人当たり】

平成19年度末の純資産		
(道路や建物の建設などの資産形成のために負担した税金や国県からの助成金)		
合計 133万6千円		
公共資産等に充てた 国県補助金 31万円	公共資産等に充てた 市税等 121万2千円	その他 資産形成に充てた市税等 △18万6千円
↓		
平成20年度末の純資産		
合計 134万2千円		
公共資産等に充てた 国県補助金 31万2千円	公共資産等に充てた 市税等 121万円	その他 資産形成に充てた市税等 △18万円
★ 6千円の増加 ★		

道路建設事業などの公共資産等に国・県補助金を充当しました。また、借入金の返済や貸付等により、市税等の一般財源を公共資産等に投入しました。

一方、貸付金の回収や減価償却により、公共資産等に投入した財源が減少しました。純資産全体では、平成19年度末に比べ6千円増加しました。

## 資金収支計算書

1年間の支出を3つの性質に区分し、それに対応する財源を収入として表示しています。

【市民1人当たり】

経常的収支の部	
【支出】 人件費、生活保護費や児童手当などの社会保障給付費、補助金等	23万円
【収入】 市税、地方交付税、使用料手数料、臨時財政対策債等	29万5千円
経常的収支額 6万5千円…A	
公共資産整備収支の部	
【支出】 道路や学校施設等の建設費	4万6千円
【収入】 国・県補助金や建設のための借入金	3万1千円
公共資産整備収支額 △1万5千円…B	
投資・財務的収支の部	
【支出】 借入金の返済や貸付金など	7万8千円
【収入】 貸付金の回収など	2万8千円
投資・財務的収支額 △5万円…C	
1年間の収支額 (A+B+C)	△0千円(△132円)
期首の現金残高	8,509円
期末の現金残高	8,377円

道路などの公共資産整備に要する費用や借入金の返済などの約5割を、市税や地方交付税等の一般財源で負担しています。

仮に公共資産等の整備を実施しないとすると、現在の借入金を市税や地方交付税等の経常的収入で返済するには、計算上約6年かかります。

# 平成21年度 上半期財政状況

財政課財政係 ☎(63)2151

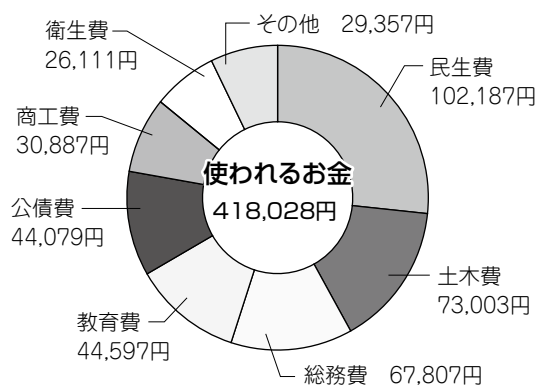
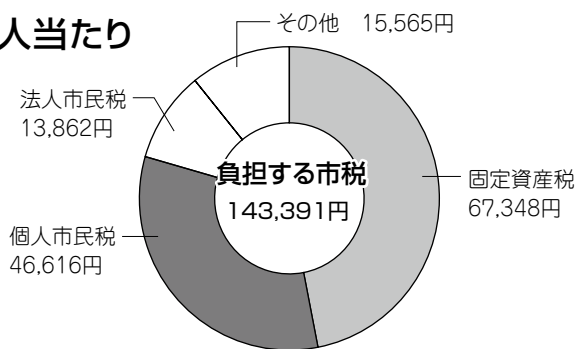
市では、毎年6月と12月の2回、財政状況を公表しています。みなさんが納めている税金がどのように使われているか、また、どのくらい納められているかをお知らせします。今回は、平成21年度上半期（平成21年4月1日～9月30日）の財政状況を公表します。

## 一般会計

現計予算額は、当初予算に補正予算や前年度からの繰越額を加えた額です。

当初予算額	386億8,000万円	
現計予算額	431億8,017万円	
収入済額	190億7,685万円	44.2%
支出済額	182億6,870万円	42.3%

## 市民1人当たり



## 特別会計

国保、下水道、簡易水道、介護や後期高齢などは、特定の保険料・使用料等の収入で事業を行っています。

当初予算額	205億6,625万円	
現計予算額	214億1,819万円	
収入済額	74億3,461万円	34.7%
支出済額	82億8,811万円	38.7%

## 水道事業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業と同様の会計方式をとっています。

収益的収入	13億1,302万円	6億1,637万円
収益的支出	10億6,728万円	3億7,993万円
資本的収入	2億3,315万円	2,923万円
資本的支出	6億2,139万円	3億5,085万円

□…現計予算額 □…収支済額

収益的収入…水道料金等 収益的支出…動力費（電気代）修繕費など  
資本的収入…企業債、国庫補助金等 資本的支出…水道管の工事費等

## 市の財産

<b>土地</b> 4,844,008㎡	<b>建物</b> 458,613㎡	<b>有価証券</b> 2,600万円
<b>出資金</b> 1億8,742万円	<b>債券</b> 3億5,622万円	<b>基金</b> 90億1,363万円

## 市が借りているお金

一般会計・下水道・簡易水道・農業集落排水・水道で借入れを行っています。

一般会計	286億3,300万円
公共下水道事業	175億1,491万円
簡易水道事業	19億8,388万円
農業集落排水事業	26億2,925万円
水道事業	34億1,891万円
<b>合計</b>	<b>541億7,995万円</b>

市民1人当たりの  
借入金残高  
**52万4,517円**